

① 研究課題名：転移を伴う前立腺癌に対する根治的放射線治療の治療成績に関する多施設共同
後ろ向き観察研究

② 研究の目的：

転移のある前立腺癌に対する標準治療はホルモン療法ですが、数年後には効きが悪くなり、抗がん剤による治療を行っても効果が乏しい場合が多いことが分かっています。近年、ホルモン療法と合わせて放射線治療を行うことにより、治療効果が向上することが報告されています。しかし、前立腺のみに放射線を照射した報告はありますが、転移部位にも前立腺と同時に照射を行った場合の治療成績について検討した報告はありません。

本研究は、転移のある前立腺癌に対して、ホルモン療法と合わせて前立腺及び転移部位に放射線照射を行った場合の治療成績及び副作用を確認することを目的としています。

③ 研究期間：2019 年 9 月 ～ 2020 年 3 月 31 日

④ 研究代表者及び研究実施施設一覧

研究代表者：名古屋市立大学病院 放射線科 村井 太郎

研究実施施設：名古屋市立西部医療センター 放射線治療科

中京病院 放射線科

名古屋第二赤十字病院 第二放射線科

南部徳洲会病院 放射線治療科

福井県済生会病院 放射線科

成田記念病院 高精度放射線治療センター

一宮市民病院 放射線治療科

⑤ 研究の対象：

- 1) リンパ節又は骨転移を伴う前立腺癌と診断された 20 歳以上の方
- 2) 2011 年 5 月 1 日から 2018 年 6 月 30 日までの間に、前立腺及び骨やリンパ節などの転移部位全てに対して放射線治療が同時期に行われた方。

⑥ 調査項目：

- ・患者情報：年齢、放射線照射を行った時期、放射線治療前中後での併用療法と内容、既往歴、内服薬、来院日、紹介元と紹介先
- ・腫瘍情報：病期の進行度、転移部位及び転移確認日、悪性度、前立腺癌診断日、PSA 検査日及び検査結果、画像検査日及び検査結果
- ・放射線治療に関する情報：照射部位、照射開始日、照射終了日、総線量、照射回数、放射線照射を行った機械の種類
- ・有害事象、転帰など

⑦ 研究の方法：

研究担当医師が、対象となる方の過去の保存された診療録から「⑥調査項目」の情報を調査し、「症例調査票」に記入します。得られた情報は、名古屋市立大学病院 放射線科へ提供され、集計・解析されます。

⑥ 研究成果の公開

多施設から集計・解析された研究結果は、学会発表や論文で公表を行う予定です。

⑦ 個人情報の保護

あなたのカルテ番号とは異なる新たな番号を付番し、その番号を用いて登録されます。このため、個人情報が外部に漏れることはありません。

この研究に参加されたくない（あなたのデータを使ってほしくない）場合は、医療者にその旨をお伝えください。

⑧ 利益相反

本研究は、西暦 2018 年度名古屋市立大学病院後期研究支援員制度を得て実施します。

⑨ 問い合わせ先

研究事務局	診療科	研究責任者
名古屋市立西部医療センター 住所：〒462-8508 愛知県名古屋市北区平手町1-1-1	放射線治療科	馬場 二三八 TEL：052-991-8121（代表）